

ハーセプチント受ける

岡山赤十字病院 病棟() 外科 主治医

様の入院計画表 (患者ID:) 平成 年 月 日

受け持ち看護師 患者様署名(代理人署名)

ハーセプチント受けるについて

製品名: ハーセプチント 一般名: トラスツズマブ

ハーセプチントの効果が期待できるのは、乳がん細胞の表面にHER2(ハーツー)がたくさんある(HER2陽性乳がん)方です。

ハーセプチントはHER2のみを狙ってくっつくように作られており、その結果、乳がん細胞をやっつけ、増殖を抑えます。

このように、ハーセプチントは今までの抗がん剤とは違い、特定の乳がん細胞だけを狙って攻撃するので『分子標的薬』と呼ばれています。

☆起こりうる副作用と対策

● 点滴による薬剤反応(インフュージョン・リアクション)

ハーセプチント点滴中または点滴後24時間以内に多く現れる症状をこう呼びます。発熱・悪寒・嘔気・嘔吐・頭痛・咳・めまい・発疹等が出ることがあります。(発熱は40%の割合で出現。他の症状の出現頻度は低い。)症状に応じ薬が処方されることがあります。ハーセプチント点滴後1日は、安静にお過ごしください。これらの症状はハーセプチントを初めて使うときに起こりやすく、2回目以降は一般的に副作用の割合や程度は軽くなります。

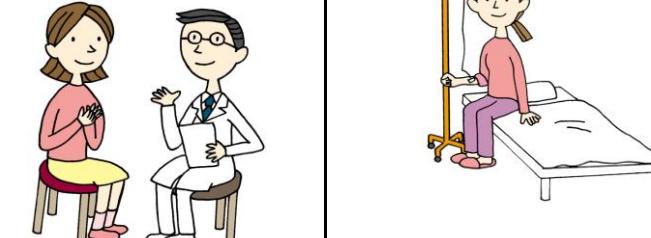
● 心臓への影響(50人に1~2人: 2~4%の割合)

ハーセプチントの副作用として心臓の機能低下があります。

心臓のポンプ機能が低下し、全身に十分な血液を送れなくなります。その結果倦怠感・むくみ・息苦しさ等が現れことがあります。重い場合は下になる前には動機・息切れ・頻脈があります。



特別な栄養管理の必要性 有・無 (どちらかに○)
総合的な機能評価: 自立 • 一部介助 • 全介助

日付	入院日 月 日		治療翌日～治療後2日目 月 日～
	治療前	治療中～治療後	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 治療の説明を受け、不安や疑問な点が質問できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 副作用の出現がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 退院できる
説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院療養計画書をお渡します。 ハーセプチント受けるについて説明します。 内服中の薬・アレルギーについて確認します。 	 <p>ハーセプチント受けるについて左記をご覧ください</p>	<ul style="list-style-type: none"> 退院療養計画書をお渡します 計算書は11時前後にお渡しできます。ご希望の時間帯等ありましたらお伝えください。 ご希望があれば、外来科学療法室にご案内します。 
検査			<p>点滴をいつている間に自覚症状があればお知らせください</p>
処置 薬剤	<ul style="list-style-type: none"> 点滴の針を挿入します。 	<ul style="list-style-type: none"> ハーセプチントの点滴を行います。時間は1時間30分程度です。 治療開始時、投与中、治療終了後などに脈拍・血圧等の測定をします。 	<p>体温・脈拍・血圧等の測定をします。</p> 
安静度	制限はありませんが点滴施行中は、トイレ歩行程度にしてください。		
排泄	トイレで行ってください。		
食事	普通食です。		
清潔	入浴はできません(事前に入浴前にすませておいてください。)		入浴ができます。

岡山赤十字病院 開始年月: 平成22年 3月 平成24年 3月改正 A-2-1
*何かご不明な点がありましたら、遠慮なく看護師にお尋ねください